

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース											
アドバンスレッスン1											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	平山雅月・小野正利・早川咲・藤崎昌弘・大野元毅・南慶樹・恒枝賢治・青木千春・館亜里沙			実務経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
流行しているものや個人の嗜好上にある音楽だけではなく、その背後にある多様な音楽、文化や歴史を学び、そこから音楽の持つ普遍性を見つけ出すことを学ぶ。同時に、楽曲を考察したうえで自分の意見をしっかりと明確にし、抑揚や表現方法に繋げることでできるアーティストを育成する。アーティストとしてだけでなく、ビジネスに繋げられる思考を育てる。業界で必要な広い視野を持ち、発信もできることを学ぶ。											
到達目標											
ピアノ伴奏をベースに合奏、独唱歌唱、ボイストレーニングを実施する。「譜面作成技術」「リズム感」「表現」を育てることを目標とする。自立して一人で活動していくことのプロセスを学び、テクノロジーを活用したサウンドロゴと、その制作法も体得する。											
授業方法											
歌唱法、演奏法、各ツールの操作法や、サウンドの加工やエフェクトの使用法を解説します。実際にクライアントに求められるような内容に沿ったサウンド作品を制作します。各自の練習/創作法に対して個別最適化した対応を行いなが、各々の内容に沿ったアドバイスを行います。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	楽譜作成の書き方と楽曲決め。										
第2回	譜面の確認をピアノ伴奏で行う。/ハミング、リップロール、表情筋のコントロール。 /PBLに基づいたサウンドロゴ作成。										
第3回	楽曲に対しての考察を共に行いイメージを合わせる。/「チェストボイス」「ヘッドボイス」「ミックスボイス」の理解。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。										

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース	
アドバンスレッスン1	
第4回	合わせたイメージを基に演奏する。/チェストボイスの発声を習得。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。
第5回	再度共に考察してディスカッションを行う。/ヘッドボイスの発声を習得。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。
第6回	曲のイントロやBPMを決める。/胸腔、口腔、鼻腔の共鳴。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。
第7回	インターの場所や拍数を決める。/ 母音と子音の意識。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。
第8回	アウトロの拍数や終わり方を決める。/音域拡大のメソッド。/マイクを使用した音声収録。
第9回	再度アレンジした譜面作成。確認。/音域拡大のメソッド。/音声を加えたサウンドロゴ制作。
第10回	メトロノームを使い歌のリズムとピアノのリズムを合わせる。/広い音域で歌うアーティストを知る。/音声を加えたサウンドロゴ制作。
第11回	全体のイメージを俯瞰で聞きまとめ、ピアノと抑揚を合わせる。/広い音域で歌うアーティストを知る。/Adobe Photoshopを作品制作に活用。
第12回	抑揚、細かい入りのタイミングなど修正。/スケール練習。/Adobe Illustratorを作品制作に活用。
第13回	講師より演奏へのフィードバック。/スケール練習。/Adobe Premiere Proを作品制作に活用。
第14回	中間発表会。/Adobe Premiere Proを作品制作に活用。
第15回	まとめ、フィードバック、個々に後期への課題発表。